

採血検査項目についての理解を深めて頂くために

検査項目、略語、内容についてまとめております。
ここでの略語とは、当病院の検査結果用紙に表記されている項目名です。
また、検査内容や検査結果についてご不明な点があれば、主治医にご相談下さい。

山形大学医学部附属病院 検査部 中央採血室

令和4年5月27日改訂

項目	略語	基準範囲	内容
総蛋白	TP(g/dL)	6.6～8.1	血中に存在する蛋白質の総称です。細胞の生命現象に必要な物質を輸送しており、全身の栄養状態把握の指標となります。
アルブミン	ALB(g/dL)	4.1～5.1	総蛋白(TP)の50～70%を占める蛋白で、肝臓で合成されます。各種病態の診断、重症度や栄養状態の指標となります。
総ビリルビン	T.Bil(mg/dL)	0.4～1.5	直接ビリルビンと間接ビリルビンの合計です。肝細胞の障害で上昇し、黄疸の指標となります。間接ビリルビンは肝疾患のほか溶血性貧血でも上昇します。
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ [*]	AST(U/L)	13～30	心臓、肝臓、骨格筋に多く含まれ、細胞の破壊によって血中に出てくる酵素です。肝疾患、骨格筋疾患、心疾患、特に心筋梗塞で上昇します。
アラニンアミノトランスフェラーゼ [*]	ALT(U/L)	男 10～42 女 7～23	肝臓、腎臓に多く含まれ、細胞の破壊によって血中に出てくる酵素です。肝臓などの疾患で上昇します。
乳酸脱水素酵素	LD(U/L)	124～222	心筋、骨格筋、肝臓、腎臓、赤血球など生体に広く分布し、細胞の破壊によって血中に出てくる酵素です。上昇で疾患の程度を知ることができます。
アルカリホスファターゼ [*]	ALP(U/L)	<u>38～113</u> (IFCC法)	肝胆道系に多くみられ、腎臓、小腸、胎盤、骨、肺、血球などにも存在します。LAPやγ-GTPとともに、胆道系疾患が疑われる場合に利用されます。
コリンエステラーゼ [*]	ChE(U/L)	男 240～486 女 201～421	肝臓で作られる酵素です。肝硬変、肝臓がん、消耗性疾患、低栄養で低値となり、糖尿病、肥満、脂肪肝などの過栄養状態で高値となります。
γ-グルタミルトランスぺプチダーゼ [*]	γ-GTP(U/L)	男 13～64 女 9～32	肝臓、腎臓、膵臓に多く存在し、脾臓、小腸、脳、心筋にも存在する酵素です。肝臓の解毒機能などに関与し、アルコール常飲者では高値となります。
アミラーゼ [*]	AMY(U/L)	44～132	主に膵臓と唾液腺から分泌され、デンプンを分解する酵素です。膵臓疾患の早期診断や経過観察に利用されます。
クレアチンキナーゼ [*]	CK(U/L)	男59～248 女41～153	骨格筋、脳、心筋に多く含まれ、臓器細胞の損傷によって血中に出てくる酵素です。様々な筋疾患や心筋梗塞で高値となります。
尿素窒素	<u>UN</u> (mg/dL)	8～20	蛋白の最終代謝産物です。肝臓、腎臓の機能の指標となります。
クレアチニン	<u>CRE</u> (mg/dL)	男0.65～1.07 女0.46～0.79	腎機能の指標に用いられます。
尿酸	UA(mg/dL)	男3.7～7.8 女2.6～5.5	肝臓、筋肉、骨髄で生成されるプリン体の最終代謝産物です。痛風などプリン体代謝異常の指標、腎臓での尿酸排泄異常の診断に利用されます。
ナトリウム	Na(mmol/L)	138～145	電解質成分の1つで、水分代謝や浸透圧などを調節して、生命維持に重要な役割を果たします。嘔吐、下痢、浮腫、脱水で異常となります。
カリウム	K(mmol/L)	3.6～4.8	
クロール	Cl(mmol/L)	101～108	
カルシウム	Ca(mg/dL)	8.8～10.1	
血清鉄	Fe(μg/dL)	40～188	生体内で2/3が赤血球内の血色素として存在し、残りの大部分が肝臓や脾臓などの臓器内に存在します。不足すると鉄欠乏性貧血となります。
中性脂肪	TG(mg/dL)	30～149	全身の脂肪組織の主成分です。この体内蓄積は肥満となり、動脈硬化をはじめ、高血圧、心臓病、糖尿病などの成人病の原因となります。

※本内容は不定期で変更の可能性があります。最新版が必要な方は採血室にて配布しておりますのでお声がけください。

項目	略語	基準範囲	内容
HDL-コレステロール	HDL-C(mg/dL)	41～96	善玉コレステロールと呼ばれ、動脈硬化を予防する働きがあります。喫煙や肥満、炭水化物の取り過ぎで低下します。
総コレステロール	TCHO(mg/dL)	128～219	肝臓や筋肉、皮下脂肪、脳や中枢神経などの細胞の中に存在します。血管の強化維持に必要ですが、多くなると動脈硬化を引き起こします。
C反応性蛋白	CRP(mg/dL)	0.14以下	リウマチ熱、慢性関節リウマチ、細菌感染症、消化器疾患、肝胆道疾患、呼吸器疾患、心血管疾患、血液疾患などで幅広く上昇します。
赤血球沈降速度	ESR(mm)	男10以下/1時間 女15以下/1時間	感染症、炎症性疾患、悪性腫瘍などで高値を示します。 30分/1時間/2時間値で測定します。
脳性ナトリウム利尿ペプチド	BNP(pg/mL)	18.4以下	心臓に負担がかかると心臓(主に心室)から分泌されるホルモンです。数値が高いほど心臓に負担がかかっているといえます。
HBs抗原	HBsAg(IU/mL)	0.05未満	B型肝炎ウイルスの感染状態を示します。
HCV抗体	HCVAb(S/CO)	1.0未満	C型肝炎ウイルスの感染状態を示します。
HIV抗体	HIVAb(S/CO)	1.0未満	エイズウイルスの感染状態を示します。
グリコアルブミン	GA(%)	11.0～16.0	過去2週間～1ヶ月の血糖値レベルを反映し、糖尿病コントロールの指標として有用です。食事による影響はありません。
糖化ヘモグロビン (ヘモグロビンA1c)	HbA1c(NGSP法) (%)	4.6～6.2	過去1～2ヶ月の血糖値レベルを反映し、糖尿病コントロールの指標として有用です。食事による影響はありません。
血糖 (グルコース)	Glu(mg/dL)	73～109	血液中のブドウ糖のことで、各種ホルモンの作用で調節されます。糖尿病をはじめとする高血糖症の診断に役立ちます。食事によって値が変動します。
白血球数	WBC($\times 10^3/\mu\text{L}$)	3.3～8.6	骨髄やリンパ節で作られ、細菌やウイルスなどと戦い、生体を守るための細胞です。種々の感染症、炎症性疾患で増加します。
赤血球数	RBC($\times 10^6/\mu\text{L}$)	男4.35～5.55 女3.86～4.92	骨髄で作られ、体のいろいろな臓器や組織に酸素を供給し二酸化炭素を運び出します。貧血の有無や種類を知ることができます。
ヘモグロビン	Hb(g/dL)	男13.7～16.8 女11.6～14.8	赤血球に含まれている色素であり、赤血球の酸素運搬の中心的な役割をしています。貧血の有無や種類を知ることができます。
ヘマトクリット	Ht(%)	男40.7～50.1 女35.1～44.4	一定量の血液中に含まれる赤血球の割合を示します。赤血球数とほぼ平行して変動します。貧血の有無や種類を知ることができます。
血小板数	Plat($\times 10^3/\mu\text{L}$)	158～348	骨髄で作られ、止血に働きます。減少すると、出血しやすくなります。
網状赤血球	Ret(%)	男0.67～1.92 女0.59～2.07	未熟な赤血球であり、貧血の指標となります。
プロトロンビン時間	PT(%)	82～124	出血した際の止血に関わります。減少すると血が固まりにくくなり、経口抗凝固療法(ワーファリン内服など)の指標に用いられます。
前立腺特異抗原	PSA(ng/mL)	4.0以下	前立腺癌で高値を示します。
α フェト蛋白	AFP(ng/mL)	8.8以下	肝臓、肝硬変、肝炎、糖尿病、腎不全、妊娠で高値を示します。
癌胎児性抗原	CEA(ng/mL)	5.0以下	大腸癌を中心とする消化器癌、甲状腺癌、肺癌で陽性率が高い一方、呼吸器疾患、ヘビースモーカーでも高値を示します。
糖鎖抗原19-9	CA19-9(U/mL)	37.0以下	膵臓、胆道癌で高値を示します。
糖鎖抗原125	CA125(U/mL)	35.0以下	卵巣癌、子宮内膜癌で高値を示します。
糖鎖抗原15-3	CA15-3(U/mL)	31.3以下	卵巣癌、乳癌で高値を示します。

※本内容は不定期で変更の可能性があります。最新版が必要な方は採血室にて配布しておりますのでお声がけください。